



SMART F-WALL

現場塗装タイプ



- 自由なデザイン!
- 希望の塗装仕上げ!
- アクセントパネルで凹凸仕上げが可能!

汎用プライマーを生地パネルに現地で塗布した後、表面は推奨の**下地調整材**である「SKカチオンプラスター弾性タイプ」を塗布後、「推奨の水性仕上げ塗材」で仕上げてください。

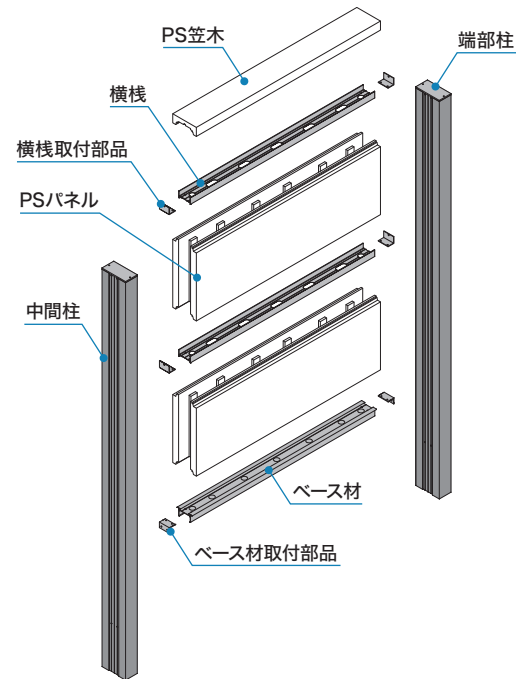
当社推奨品「下地調整材」

- 四国化成建材社「SKカチオンプラスター弾性タイプ」(塗厚:約2mm) または、軽量セメントモルタル(塗厚:5~10mm)を施工要領を遵守して全面塗布
- ※下地調整材は当社推奨品又は日本建築学会規格(JASS15M-102)既調合セメントモルタル適合品を用いてください。

当社推奨品「仕上げ塗材」

- 四国化成建材社「パレットHG」
- 四国化成建材社「パレットクリームHG」
- アイカ工業社「ジョリパットアルファ (JP-100)」
- ※詳しくは[P60]を参照してください。

本体構成部品



組立後



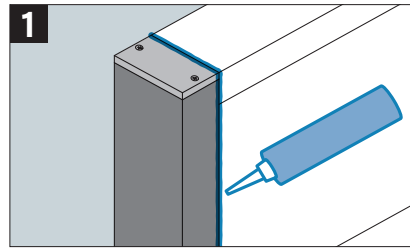
柱にベース材を取付、PSパネルを差し込み、横棧を取付ます。これを繰り返して最後にPS笠木を取付けて組立ては完成です。



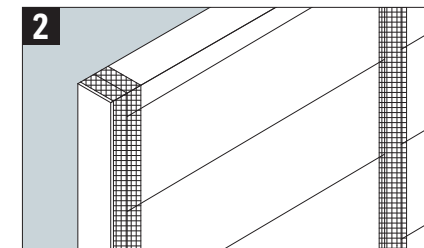
パネル・笠木



生地面の下地処理・塗装要領



**1 コーキング充填(縦目地のみ)**  
本体を組立て後、コーキング材を柱とパネルの目地部(縦目地)に充填してください。柱とパネルの隙間は、**気泡の無いように、しっかり充填してください。**  
【養生:1日 ※冬期:4日】  
※コーキング材は、変成シリコンノンブリートタイプをご使用ください。



**2 目地テープ貼付け(縦目地のみ)**  
コーキングを充填後、柱とPSパネル・PS笠木の縦目地部分に目地テープを貼り付けてください。



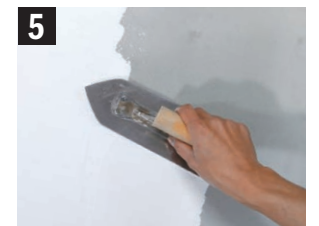
**3 汎用プライマー塗布**  
塗装仕上をする部分に、当社規格の汎用プライマーを塗布してください。  
【養生:0.5~1日】

**4 SKカチオンプラスター塗布+グラスファイバーネット伏せこみ**

- 1 当社推奨品のSKカチオンプラスター弾性タイプを薄くコテ塗りしてください。
- 2 直後にグラスファイバーネットを壁面全体に軽く圧着してください。
- 3 SKカチオンプラスター弾性タイプを上から塗りこみ、合計塗厚約2mmで仕上げてください。



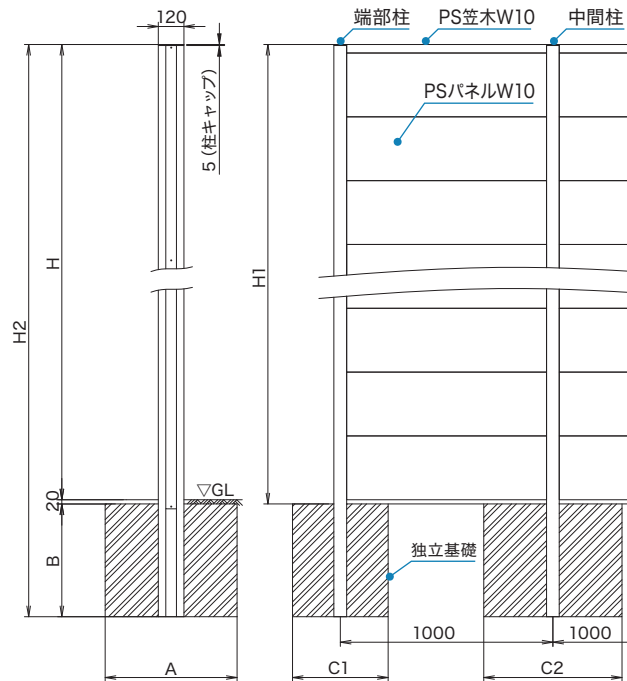
※又は軽量セメントモルタルを塗厚5~10mmで塗布してください(グラスファイバーネット全面伏せこみ)。軽量セメントモルタルには、25kgあたりハイモルエマルジョン[ペタルスEV-300](株式会社レソナック建材)を1kg混入してください。メーカーの施工要領を遵守してください。



**5 表面仕上塗材の塗装**  
当社推奨の塗材で仕上げてください。濃色の場合は直射日光を避け、塗装後は養生などの処置をおこなってください。  
※下地調整材に軽量セメントモルタルを用いる場合、仕上げ塗材施工前に各社指定のシーラー処理をしてください。

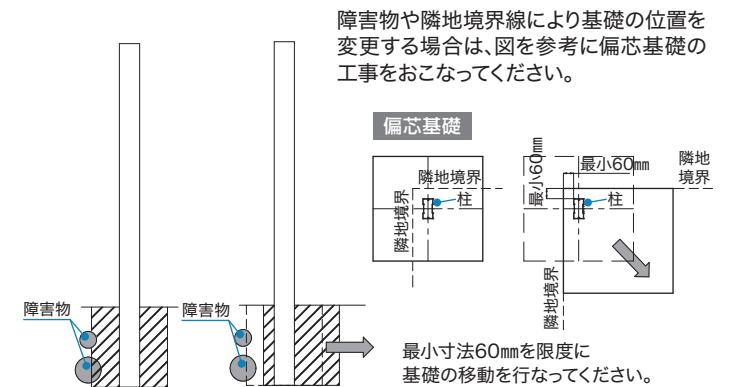
基礎寸法図(現場塗装タイプ)

独立基礎 ※図は1型



※連続基礎の場合、1型は[P56]・2型は[P58]を参照してください。

■基礎の寸法および基礎の偏芯について



■独立基礎寸法表(mm)

サイズ	H1200	H1500	H1800	H2100	H2400	H2700	H3000
H	1243	1543	1844	2144	2445	2745	3046
H1	1263	1563	1864	2164	2465	2765	3066
H2	1713	2013	2364	2694	2990	3465	3866
A ※1	420	520	560	620	700	640	640
B	450	450	500	530	525	700	800
C1 ※1	250	270	300	330	370	340	340
C2 ※1	420	520	560	620	700	640	640

※1. 偏芯基礎の場合はA・C1・C2の寸法に20mm加算してください。  
※基礎寸法は、基準風速34m/s、地表面粗度区分III、長期耐力50kN/m<sup>2</sup>の時の参考寸法です。